地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 広報誌

# あきほ

AKIHO

2022年 夏
54
ご自由にお持ちください。

特集

## 保険適用になった 不妊治療について

P4～5 すこやかレディースクリニック日本海ヘルスケアネットとの連携について
P6 すずらん贈呈式に参加してきました！
デジタルサイネージの表示内容をリニューアルしました!!
P7 医師異動
P8 職員採用試験案内
公開講座のお知らせ
編集後記

5月25日(水)すずらん贈呈式に看護師2名が参加

特集

# 保険適用になった不妊治療について

診療部長（兼）産婦人科部長
清野朝史

## 不妊治療って何だろう

「日本海総合病院で治療したら妊娠した人もいるけど、他の病院に紹介されたって人もいるみたい。お金もかかるし、仕事も簡単に休めない。でも、子供は欲しい。」

妊娠を計画していなかったケースを除いて、結婚して1年間子供が授からなければ不妊治療の対象になると言えるでしょう。でも、不妊治療って、一体どんなことをするのでしょうか。

ひとえに不妊と言っても、大きく分けて女性側に原因がある場合と男性側に原因がある場合、両方に原因がある場合、そして、どこに原因があるのかわからない場合があります。

女性側の原因については、当院では、これまでも卵巣で卵子が育たない場合は排卵誘発剤を使ったり、排卵や着床に障害となる卵巣嚢腫の摘出手術、子宮筋腫の摘出、内膜ポリープの切除、卵管の通りを良くする手術などを実施してきました。超音波エコーを使ってタイミング法を行ったり、精子の状態が悪い場合は人工授精なども行ってきました。

排卵には問題がありません。精子の状態も良いです。でも妊娠しないのは何故でしょう。そこで考えられるのが、「受精」しているかどうかという問題でした。卵管の中では一体どんな事が起きているのでしょうか。受精しているのでしょうか。精子は卵子まで届いているのでしょうか。そもそも、卵子は卵管にキャッチされているのでしょうか。卵子の状態はどうでしょうか。受精した後の状態はどうでしょうか。これらのことは、卵子をシャーレの中に置いて、顕微鏡を使って観察しないとわかりません。その問題を解決してくれたのが「体外受精」という技術でした。

## 生殖補助医療

体外受精を簡単に説明すると、排卵する前に、細い針を膣の方から卵巣に刺して卵子を吸引（採卵）し、シャーレに移して、これに洗浄した精子を接触（媒精）させて、受精させる方法です。この方法なら、2日後には受精しているかどうかも確認でき、3～4日後には受精卵の良し悪しも観察することができます。シャーレの中で自然に受精しない場合は、顕微鏡を使って精子を卵子に直接注入する方法もあります。また、たくさんの受精卵ができた場合は、凍結して保存しておくこともできます。体外受精をはじめ、これらの技術を使った医療を生殖補助医療と言います。

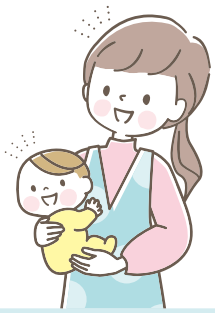
## 令和4年4月から不妊治療が保険適用になります

さて、ここで疑問に思うことがありますね。

「あれ？不妊治療ってお金がかかるのではないでしょうか？」

そうです。お金のかかる治療だったのです。

生殖補助医療にかかる費用は、施設によって異なりますが、40万円から60万円かかることもあり、保険適用ではありませんでした。簡単に1回で妊娠すれば良いのですが、複数回かかることもあります。そこで、多くの自治体が、例えば山形県も特定不妊治療助成制度という制度を作り、回数に制限はあるものの1回の体外受精につき30万円の上限で助成金を利用することができました。それでも、その差額はかかるわけですから高い治療費だったと思います。しかし、令和4年4月から、生殖補助医療の多くの項目が保険適用になりました。体外受精などの基本料金は原則保険適用になります。そして、年齢、回数の要件は特定不妊治療助成制度と同じで、40歳未満なら6回ま



で、40歳以上43歳未満なら3回までと、制限はあるものの窓口での負担額が治療費の3割負担になります。もちろん、治療費が高額な場合は月額上限（高額療養費制度）を利用することができます。

## 動き出す日本海総合病院

当院も動き出します。当然ながら、これまで行ってきた、不妊に原因のある手術や当院で可能な治療、例えば、排卵誘発、タイミング法、人工授精もこれまでどおり行いますが、さらに、体外受精や受精卵凍結も行うことになります。今、日本海総合病院では、体外受精専用の新棟の建築を計画しています。そして、日本海ヘルスケアネットに新たに参入した鶴岡市のすこやかレディースクリニックと業務連携を行うことになりました。専用棟が完成する頃には、生殖補助医療のほとんどを当院で行うことができるようになり、遠くの病院へ出かける必要がなくなるかも知れません。生殖補助医療が保険適用になって、不妊に悩む多くの方々が、抵抗なく不妊治療ができるようになれば、少しは少子高齢化にも歯止めがかかるかも知れません。子供たちが増えて小学校も増えて、若者が増えて、また地域が賑やかになることを願っています。

「体外受精、はじめました」となるよう、日本海総合病院は準備を始めています。

令和4年4月から、

厚生労働省

# 不妊治療が保険適用されます。

## ✓ 体外受精などの基本治療は全て保険適用されます

● 国の審議会(中央社会保険医療協議会)で審議された結果、関係学会のガイドラインなどで有効性・安全性が確認された以下の治療については、保険適用されます。

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 一般不妊治療 | タイミング法 | 人工授精 | | | | |
| 生殖補助医療 | 採卵<br>採精 | → 体外受精<br>顕微授精 | → 受精卵・<br>胚培養 | → 胚凍結保存 | → 胚移植 | |

● 生殖補助医療のうち、上記に加えて実施されることのある「オプション治療」についても、保険適用されるもの、「先進医療」(※)として保険と併用できるものがあります。

※「先進医療」とは、保険外の先進的な医療技術として認められたもので、保険診療と組み合わせて実施することができます。不妊治療に関する「先進医療」は随時追加されることもありますので、詳細は、受診される医療機関にご確認ください。

## ✓ 年齢・回数の要件(体外受精)は助成金と同じです

● 保険診療でも、これまでの助成金と同様に以下の制限があります。
なお、一部の方に経過措置が適用されます。

| 年齢制限 | 回数制限 | |
|---|---|---|
| | 初めての治療開始時点の女性の年齢 | 回数の上限 |
| 治療開始時において女性の年齢が43歳未満であること | 40歳未満 | 通算６回まで(1子ごとに) |
| | 40歳以上43歳未満 | 通算３回まで(1子ごとに) |

※ 助成金の支給回数は、回数の計算に含めません。

## ✓ 窓口での負担額が治療費(※)の3割となります

※ 保険診療の治療費

● 治療費が高額な場合の月額上限(高額療養費制度)もあります。
具体的な上限額や手続は、ご加入の医療保険者(国民健康保険にご加入の方は、お住まいの市町村の担当窓口)にお問い合わせください。

高額療養費制度
(厚生労働省HP)

**～その他、お役立ちページ(厚生労働省HP)～**

**①不妊治療に関する取組**
不妊治療に関する相談支援事業のご紹介、検討会、研究事業などを掲載しています。

**②不妊治療と仕事の両立のために**
企業の福利担当や事業主の方へ向けた助成金の案内、セミナー、マニュアル等の紹介を行っております。

(厚生労働省ホームページより引用)

## 不妊治療の全体像

令和４年３月以前から保険適用

**検査(原因検索)** → ①男性不妊、②女性不妊、③原因が分からない機能性不妊に大別される。診察所見、精子の所見、画像検査や血液検査等を用いて診断する。

**原因疾患への治療**

| | |
|---|---|
| ①男性側に原因 | 精管閉塞、先天性の形態異常、逆行性射精、造精機能障害など。手術療法や薬物療法が行われる。 |
| ②女性側に原因 | 子宮奇形や、感染症による卵管の癒着、子宮内膜症による癒着、ホルモンの異常による排卵障害や無月経など。手術療法や薬物療法が行われる。 |

原因不明の不妊や治療が奏功しないもの【令和４年４月から新たに保険適用】※令和４年３月までは保険適用外

| | | |
|---|---|---|
| **一般不妊治療** | ﾀｲﾐﾝｸﾞ法 | 排卵のタイミングに合わせて性交を行うよう指導する。 |
| | 人工授精 | 精液を注入器で直接子宮に注入し、妊娠を図る技術。主に、夫側の精液の異常、性交障害等の場合に用いられる。比較的安価。 |
| **生殖補助医療**<br>※**令和４年３月までは助成金の対象**。助成金事業では「特定不妊治療」という名称を使用 | 体外受精 | 精子と卵子を採取した上で体外で受精させ（シャーレ上で受精を促すなど）、子宮に戻して妊娠を図る技術。 |
| | 顕微授精 | 体外受精のうち、卵子に注射針等で精子を注入するなど人工的な方法で受精させる技術。 |
| | 男性不妊の手術 | 射精が困難な場合等に、手術用顕微鏡を用いて精巣内より精子を回収する技術（精巣内精子採取術（TESE））等。→顕微授精につながる |

胚移植の段階で、以下に分かれる
・新鮮胚移植
・凍結胚移植

(厚生労働省ホームページより引用)

# すこやかレディースクリニック
# 日本海ヘルスケアネットとの連携について

すこやかレディースクリニック
院長
**斎藤憲康先生**

はじめまして。

この度日本海ヘルスケアネットの一員に加入させていただきました、鶴岡市東原町の「すこやかレディースクリニック」の斎藤憲康と申します。

1976年に大学を卒業後、1988年に荘内病院に赴任。1999年に分娩と婦人科検診、一般婦人科診療と不妊症治療、とくに人工授精などの一般不妊治療から、体外受精、顕微授精、胚凍結などの高度生殖医療を含む、不妊症治療のほぼ全てが実施できる医療施設として設立されました。

開設後18年間に計6,200例の分娩を取り扱ってきましたが、少子高齢化と晩婚化の風潮に伴い、不妊症治療の患者数が著しく増加し、分娩と不妊治療の両方をきっちり行うことが困難となりました。そこで庄内地方では当院しかできない不妊症治療の方を重点的に行うべく、分娩を終了して、現在は不妊症の治療を中心に一般婦人科診療、婦人科検診を行っております。

鶴岡地区から初めての日本海ヘルスケアネットへの加入となりますが、北庄内の皆様には「なんで鶴岡から?」という疑問もあろうかと思います。

不妊症治療の場合、30歳代から40歳代初めの患者さんが中心です。この年齢層は、職場では一番仕事のできる年代であり、なかなか仕事を休んで通院することは困難です。とくに、当院の診療圏は、北は由利本荘、南は村上市、東は新庄市、最上町と広範囲であり、片道1時間以上かけて通っている方も多数おられます。受診者の約半数を占める酒田市からでも30分以上はかかります。

厚労省は治療している患者に「時間休を与えなさい」という指導をしておりますが、交通機関が発達していて、多数の不妊症治療施設がある都会と庄内の状況は全く異なります。少子高齢化は待ったなしの状況であり、「子育てするなら〇〇で」というキャンペーンを張っても、子供が生まれなければ、「絵にかいた餅」でしかありません。「生まれる子供を増やす」「不妊症の治療に力を入れる」という国や県の方針で、不妊治療には補助金がつき、今年度からは「人工授精」や「高度生殖医療」も保険適応になりました。

とくに酒田市は丸山市長の慧眼で、以前より県内では一番不妊治療の補助金額が多く、酒田市民は、ほぼ無料で体外受精などの治療を受けられる恵まれた環境でした。

又、高度生殖医療の保険適応に伴い、補助金を終了する市町村が多い中、「酒田市民はこれまで通りほぼ無料で不妊治療を受けられるようにする」とのありがたいお話でした。

酒田市にも治療を受けたい患者さんは大勢いらっしゃいます。ただ職場の関係などで治療を受けることをあきらめ年を重ねてゆくとしたら、非常にもったいないことです。不妊症の治療で一番重要なのは、「できるだけ若い時から治療を開始すること」ですから、日本海総合病院で高度生殖医療ができれば、酒田市やそれ以外の患者さんにとっては大きなメリットになり、また酒田市の発展にも大きく貢献できるものと思われます。

「子育てするなら庄内で」を現実にするために共に手を組んで頑張りましょう。

すこやかレディースクリニック
臨床検査技師／体外受精コーディネーター
生殖補助医療胚培養士

## 小杉　綾

すこやかレディースクリニックで体外受精コーディネーター及び胚培養士として勤務しております小杉綾です。

当院では一般の婦人科診療に加え、不妊治療（未妊治療）にも力を入れ日々の診療を行っております。不妊症の原因や治療の内容は多岐にわたり、そのご夫婦により抱えられているお悩みも様々です。私どもは、治療を希望されるご夫婦に対し正しい知識に基づき説明を行い、少しでも不安を取り除き、お二人が一緒に自律的決定をできるようサポートさせて頂いております。そして体外受精の治療において卵子・精子・受精卵を取り扱い、採卵～胚培養～凍結～移植を行うのが胚培養士の業務となります。責任をもって※配偶子を取り扱い、いかに最良の状態を保ちながら患者さんにお戻し出来るかを考え業務に励んでおります。

今後も常に患者さん・配偶子に真摯である事に努め、基本に立ち返りながらも新たな知識と技術の習得に努めて参ります。

日本海ヘルスケアネットの連携により良い複合的な医療提供が可能になる事と思います。不妊治療・不妊予防の充実とともに様々なライフプランを選択できる地域づくりに貢献したいと考えております。

※卵子・精子・受精卵

すこやかレディースクリニック
看護師長、不妊カウンセラー

## 井上秀子

すこやかレディースクリニック開院からお世話になっております。

不妊カウンセラーの資格を取得し21年になりますが、体外受精コーディネーターの資格を持つ、胚培養士の方々との連携をもち、日々の不妊外来業務に取り組んでいます。

検査開始から、医師から提案された治療方針の説明のなど、患者さんの背景に合わせて、個別性を大切に治療のサポートを行っています。

不妊治療を必要とし、当院を訪れる患者さんは増えてきています。

そんな不妊治療に悩まされて、通院してくる方々の気持ちに寄り添う看護を心がけています。

看護師・不妊カウンセラーという立場から、一般治療の患者さんへの関わりを主に行っています。医師から提案された治療方針の説明や、体外受精の際には採卵の補助を行っています。

山形県は、共働き率が高いと言われていますが、仕事をしながら不妊治療に通うのは心身の負担が大きいと思います。実際私自身も、不妊治療を経験していました。その時の気持ちを忘れずに、患者さんの心に寄り添う看護を心がけます。

【やりがいを感じるとき】不妊治療を乗り越えて、無事卒業されていく患者さんの笑顔を見ると、不妊治療に関われて良かったと思う瞬間です。

【日本海総合病院との連携について】社会的に、まだまだ不妊治療への理解が乏しく、通院・加療したくても、踏み込めない方々も少なくないと思います。

日本海総合病院との連携を強化することで、不妊治療への認知度を高め、庄内の治療の円滑化に繋げていけたらと考えます。

# すずらん贈呈式に参加してきました！

5月25日（水）毎年、この時期に開催されるすずらん贈呈式に当院の看護師２名が参加しました。
入院されている患者さんの一日も早いご回復と幸せを願い、また、新型コロナウイルス感染症に尽力する医療関係者に感謝の気持ちが込められた「すずらん」と「すずらんの香りがするしおり」をいただきました。

エントランスホール

救急入口

## デジタルサイネージの表示内容を リニューアル しました！！

エントランスホール、救急入口、外来待合、病棟エレベータホール、入退院支援センター入口のデジタルサイネージをアニメーションで表示しています。

外来待合

病棟エレベータホール

入退院入口

お気づきの点がございましたら下記担当までご連絡ください♪

**日本海総合病院 0234-26-2001（代）／ デジタルサイネージを検討するワーキング 事務局：経営企画係**

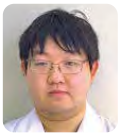
# 医師移動

## 転入者 日本海総合病院

1 前任地　2 趣味・特技

内科
**荒海　光良**
1 山形大学医学部附属病院
2 温泉

内科
**市川　翼**
1 山形大学医学部附属病院
2 献血、登山、旅行



内科
**茂原　義弘**
1 山形大学医学部附属病院
2 読書、鉄道マニア（乗り鉄）

循環器内科
**長島　義宜**
1 太田記念病院
2 スキー、通販

循環器内科
**菊地　彰洋**
1 鶴岡市立荘内病院
2 晩酌

循環器内科
**北見　有以**
1 国立国際医療研究センター病院
2 美味しいもの巡り、テニス、漫画

循環器内科
**山本　雄太**
1 山形県立新庄病院
2 テレビゲーム、ボードゲーム、グルメ巡り、掃除、洗濯、料理

消化器内科
**角田　道彦**
1 山形大学医学部附属病院
2 サイクリング、バク転

消化器内科
**遠西　孝夫**
1 国立国際医療研究センター病院
2 音楽鑑賞、グルメ、旅行

精神科
**狩野　龍之介**
1 山形大学医学部附属病院
2 野球観戦、筋トレ

神経内科
**鈴木　佑弥**
1 山形大学医学部附属病院
2 野球

神経内科
**岡田　寛正**
1 仙台厚生病院
2 ランニング

小児科
**五十嵐　丈人**
1 山形済生病院
2 料理、NBA 視聴、映画鑑賞

外科
**佐藤　克成**
1 山形大学医学部附属病院
2 卓球、カラオケ

心臓血管外科
**新井　秀佑**
1 山形大学医学部附属病院
2 読書、F1 観戦

脳神経外科
**中村　和貴**
1 山形市立病院済生館
2 旅行、音楽

整形外科
**岩﨑　聖**
1 公立置賜総合病院
2 釣り

整形外科
**門馬　亮介**
1 山形大学医学部附属病院
2 キャンプ、料理

整形外科
**明石　一輝**
1 枡記念病院
2 読書

整形外科
**斎藤　大三**
1 山形大学医学部附属病院
2 ドライブ

形成外科
**濱田　啓一**
1 鶴岡市立荘内病院
2 サッカー・フットサル、スポーツ観戦

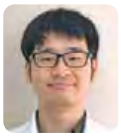
産婦人科
**山口　理紗子**
1 山形大学医学部附属病院
2 旅行

泌尿器科
**黒川　真行**
1 京都桂病院
2 読書

耳鼻咽喉・頭頸部外科
**荒木　直人**
1 公立置賜総合病院
2 カメラ、車、ラーメン屋探訪

耳鼻咽喉・頭頸部外科
**中村　美代子**
1 山形大学医学部附属病院
2 ドラマ鑑賞、ランニング

放射線科
**松枝　怜**
1 山形大学医学部附属病院
2 ピアノ、ギター、ベース、ドラム



放射線科
**植松　健**
1 山形大学医学部附属病院
2 麻雀、ゴルフ

歯科口腔外科
**眞田　昌尚**
1 新庄徳洲会病院
2 旅行

歯科口腔外科
**江口　萌**
1 山形大学医学部附属病院
2 観劇

麻酔科
**中村　直久**
1 山形大学医学部附属病院
2 子守り

救急科
**小林　駿**
1 山形県立中央病院
2 カーリング、トロンボーン

病理診断科
**宮部　賢**
1 秋田大学医学部附属病院
2 子どもの絵本選び、絵本の読み聞かせ

初期研修医②
**皆川　大悟**
1 山形大学医学部附属病院
2 スポーツ観戦、温泉

初期研修医②
**今田　綾香**
1 山形大学医学部附属病院
2 バドミントン

初期研修医①
**桂　涼太**
1 福島県立医科大学
2 キャンプ、バスケットボール

初期研修医①
**金内　拓海**
1 自治医科大学
2 ドラマ・映画鑑賞、スポーツ観賞

初期研修医①
**西條　実夢**
1 山形大学
2 旅行、ゴルフ

初期研修医①
**齊藤　渓大郎**
1 山形大学
2 スポーツ観戦

初期研修医①
**齊藤　泰介**
1 岩手医科大学
2 野球、サッカー

初期研修医①
**佐々木麻悠子**
1 山形大学
2 旅行

初期研修医①
**鈴木　葵子**
1 山形大学
2 漫才鑑賞

初期研修医①
**鈴木　友梨**
1 山形大学
2 ピアノ、バイオリン、早起き

初期研修医①
**千葉　紫織**
1 山形大学
2 カラオケ、トランペット

初期研修医①
**星野　祐一**
1 東北大学
2 筋トレ

初期研修医①
**松原　奈穂**
1 山形大学
2 買い物、外食

歯科研修医
**林　恆新**
1 松本歯科大学
2 旅行、映画鑑賞

歯科研修医
**渡部　耕大**
1 東北大学
2 バスケットボールの試合観戦

## 転出者

### 日本海総合病院

| | | | |
|---|---|---|---|
| 内科 | 細川　雅司 | 山形大学医学部附属病院 | |
| 内科 | 細川　由佳 | 山形大学医学部附属病院 | |
| 内科 | 阿部　真也 | 山形大学医学部附属病院 | |
| 内科 | 小菅　桃 | 仙台厚生病院 | |
| 循環器内科 | 門脇　心平 | 鶴岡市立荘内病院 | |
| 循環器内科 | 村形　寿彦 | 山形県立中央病院 | |
| 循環器内科 | 大野　紘枝 | 鶴岡市立荘内病院 | |
| 消化器内科 | 齋藤　吉彦 | 公立置賜総合病院 | |
| 消化器内科 | 大原　洸 | 山形県立中央病院 | |
| 消化器内科 | 篠原進太朗 | 国立国際医療研究センター病院 | |
| 消化器内科 | 鈴木　康介 | 仙台厚生病院 | |
| 消化器内科 | 三浦　崇裕 | 山形大学医学部附属病院 | |
| 消化器内科 | 黒井　正之 | 西川町立病院 | |
| 精神科 | 酒井　大志 | 山形県立こころの医療センター | |
| 神経内科 | 佐藤　大祐 | 山形大学医学部附属病院 | |
| 小児科 | 浅井　優作 | 山形大学医学部附属病院 | |
| 外科 | 赤羽根綾香 | 山形大学医学部附属病院 | |
| 外科 | 半沢　光 | 山形県立中央病院 | |
| 心臓血管外科 | 赤羽根健太郎 | 仙台市立病院 | |
| 脳神経外科 | 本間　博 | 山形大学医学部附属病院 | |
| 整形外科 | 川路　博之 | 米沢市立病院 | |
| 整形外科 | 山川　淳一 | 公立置賜総合病院 | |
| 整形外科 | 鮫島　健志 | 山形大学医学部附属病院 | |
| 整形外科 | 白石　暁 | 枡記念病院 | |
| 形成外科 | 田村　梨紗 | 山形大学医学部附属病院 | |
| 産婦人科 | 西　美智 | 山形済生病院 | |
| 産婦人科 | 佐藤　藍 | 山形大学医学部附属病院 | |
| 産婦人科 | 佐野　詩織 | 山形県立新庄病院 | |
| 泌尿器科 | 矢羽々聡史 | 山形県立新庄病院 | |
| 耳鼻咽喉・頭頸部外科 | 岡崎　雅 | みみ・はな・のど　芳賀タウンクリニック | |
| 耳鼻咽喉・頭頸部外科 | 吉田　祥徳 | 埼玉県立がんセンター | |
| 放射線科 | 高梨　悠 | 山形大学医学部附属病院 | |
| 歯科口腔外科 | 尾崎　尚 | 音羽病院 | |
| 歯科口腔外科 | 堀井　彩夏 | 公立置賜総合病院 | |
| 初期研修医② | 相沢みづな | 千葉大学医学部附属病院 | |
| 初期研修医② | 夷藤明日香 | 日本海八幡クリニック | |
| 初期研修医② | 猪俣　怜奈 | 東京医科歯科大学 | |
| 初期研修医② | 佐藤さくら | 山形大学医学部附属病院 | |
| 初期研修医② | 下津　陽平 | 土浦協同病院 | |
| 初期研修医② | 髙橋　直弘 | 千葉大学医学部附属病院 | |
| 初期研修医② | 八島　誠司 | 山形大学医学部附属病院 | |
| 歯科研修医 | 菅原　理奈 | 鹿島デンタルオフィス | |
| 歯科研修医 | 藤田　貴也 | さいとう歯科診療室 | |

### 日本海八幡クリニック

| | | |
|---|---|---|
| 診療部門 | 寺田　太一 | 山形県立中央病院 |

あきほ
広報誌「あきほ」第54号
令和4年7月（季刊）発行部数：3,000部

# 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構
# 職員採用試験受験案内（令和5年4月採用）

## 1　募集職種、採用予定人数及び受験資格

| 職　種 | 人　数 | 受験資格 |
|---|---|---|
| 看護師（または助産師） | 40名程度 | 昭和38年4月2日以降に生まれた方で、看護師免許（助産師の方は看護師免許と助産師免許）を有する方、または令和5年5月末までに当該免許を取得する見込みの方 |

## 2　試験期日及び試験会場

| 職　種 | 区　分 | 試験期日 | 試験会場 |
|---|---|---|---|
| 看護師 | 一次試験 | 令和4年7月30日（土） | 日本海総合病院 |
| | 二次試験 | 令和4年8月27日（土） | |

## 3　受付期間及び受付時間

（1）受付期間
6月1日（水）～7月19日（火）
（土曜、日曜、祝日を除く）
（2）受付時間
8時30分～17時15分

## 4　試験種目及び時間

| 区　分 | 試験種目 | 時　間 |
|---|---|---|
| 一次試験 | 受付 | 8：45～9：00 |
| | 性格検査 | 9：05～9：40 |
| | 専門試験 | 9：50～10：50 |
| 二次試験 | 面接試験 | 一次試験合格者に通知 |

## 5　合格発表

| | | |
|---|---|---|
| 一次試験合格発表 | 8月中旬予定 | 受験者全員に郵送で通知<br>日本海病院内に合格者番号を掲示<br>病院機構ホームページにも掲載 |
| 最終合格発表 | 9月中旬予定 | |

※試験および申し込みについて、詳しくは受験案内（受験申込書付き）をご覧ください。
※受験案内は当法人関連施設にあるほか、同病院機構ホームページ（http://www.nihonkai-hos.jp/adoption.html）からもダウンロードできます。

■お問い合わせ
地方独立行政法人　山形県・酒田市病院機構
日本海総合病院　総務課職員係　採用担当
TEL.0234-26-2001

## 公開講座のお知らせ

入場無料
どなたでも参加できます

令和4年度日本海総合病院
地域がん診療連携拠点病院　公開講座

### 「いきかた」準備
～アクティブ・エンディングのすすめ～

金子稚子先生
終活ジャーナリスト

厚労働省「人生の最終段階における医療・ケアの普及・啓発の在りに関する検討会」構成員
一般社団法人日本医療コーディネーター協会共同代表理事

開催日　2022年7月24日（日）
時　間　14:00～15:30（開場は13:30から）
場　所　酒田市民会館「希望ホール」
（酒田市本町2丁目2-10）

終活とは、死ぬための準備ではなく人生の幕引きに向けた「生き方」「逝き方」を自分で決めること。家族で考える終活。ぜひ、お気軽にご参加ください。

■お問い合わせ／日本海総合病院医事課医事第1係
TEL.0234-26-2001（代）
■後援／酒田市・酒田地区医師会十全堂・庄内保健所

## 編集後記
Editorial note

今年で3年目のマスク生活に慣れてしまい、便利な部分はあるものの、この時期は耐え難いアイテムですね。

すこやかレディースクリニックさんへの取材日は激しい雨の中、お伺いさせていただきました。お話をお聞きする中で、これからの連携が日本海総合病院の新たな1ページに繋がっていくのだと思うと嬉しくなりました。

帰院したときには、湿気に負けた前髪と顔面をマスクで覆い隠したい気持ちでしたが、どこかとても清々しい気持ちでした。

今後も、日本海総合病院の不妊治療の取り組みをお伝えしていきたいと思います。

今年はたくさんのジャスミンの花が咲きました！

地方独立行政法人
山形県・酒田市病院機構

＜基本理念＞
1．安心、信頼、高度な医療提供
2．保健、医療、福祉の地域連携
3．地域に貢献する病院経営

本誌へのご意見・ご感想をお聞かせください。
☎0234-26-2001（代表）
日本海総合病院 経営企画課広報誌担当まで
✉kikaku@nihonkai-hos.jp

日本海総合病院では広報誌以外にも情報発信を行っています！
臨床研修Facebook 公式ページ
www.facebook.com/nihonkaihos.kensyu
看護部Facebook 公式ページ
www.facebook.com/nihonkaihos.kango
日本海総合病院 Twitter 公式アカウント @nihonkai_hosp

編集発行●地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 広報企画委員会事務局　〒998-8501 山形県酒田市あきほ町30番地
TEL：0234-26-2001（代表）FAX：0234-26-5114
印　刷●鶴岡印刷株式会社